

## 2004 年度 委員会活動成果報告

(2005年3月16日作成)

委員会名	ラーバンデザイン小委員会	主 査 名：鎌田元弘
所属本委員会 (所属運営委員会)	農村計画本委員会	委員長名：伊藤庸一
設 置 期 間	2002年 4月 ~ 2006年 3月	
設 置 目 的 各年度活動計画	日本型ラーバンの研究フレームの整理(2002年度) 海外事例に見るラーバンの要件整理(2003年度) ラーバンデザインのためのコンセプト構築(2004年度) ラーバン実現化のための諸問題の検討(2005年度)	
委員構成 (委員名(所属))	鎌田元弘(千葉工大)、神田徳蔵(東京理大)、相羽康郎(東北芸工大)、浦山益郎(三重大)、加藤正之(㈱加藤正之建築研究所)、蟹江好弘(足利工大)、斎尾直子(筑波大)、坂本淳二(広島国際大)、佐久間康富(早大)、竹内壽一(㈱竹内建築総合研究所)、武部瑞子(住都公団)、栃倉 肇(㈱大広)、波多野憲男(四日市大)、前田真子(奈良女子大)、三国政勝(千葉大)	
設置WG (WG名:目的)	ラーバン出版WG:ラーバン小委員会の研究成果を出版企画に繋げること	
2004年度予算	165,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	小委員会開催(出版WG含む):第1回(04年4月6日・10名)第2回(04年5月15日・10名)第3回(04年6月30日・3名)第4回(04年7月24日・10名)第5回(04年8月29日・12名)第6回(04年9月30日・3名)第7回(05年1月8日・10名)
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>本年度はこれまでの過去5回の研究懇談会と2003年度大会時でのオーガナイズドセッション成果を出版物にまとめるべく小委員会内に出版WGを組織し、審議を重ね出版物の枠組みについて検討した。出版WGを組織することにより、大会時の小委員会の開催を含め7回にも及び検討会を開催し、本の出版に向けて集中的に議論することができた。その結果、「わが国におけるラーバンの概念」についての委員間での合意形成と具体的な事例を整理するためのフレームを構築することが出来た。これらはわが国における「都市的要素と農村的要素の融合」のあり方を示したものであり、その学術的・社会的価値は高いと認識している。</p> <p>委員会 HP アドレス: <a href="http://news-sv.aij.or.jp/nouson/s0/">http://news-sv.aij.or.jp/nouson/s0/</a> (農村計画本委員会)</p>
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <p>「わが国におけるラーバンの概念」といった極めて難しい課題に対して、正面から取り組むことが出来たことは今年度の主要目標を達成したと言える。しかし、議論が深まった反面、本の出版に向けての具体的準備作業は若干遅れている。今後は本の出版に加え、今年度の成果を生かし韓国との国際交流事業の開催を目標としている。</p>
その他評価すべき事項	本委員会での議論をベースとして科研申請を行うことが出来た。